

ケアセンター成瀬「楽習」日和

(くもん学習療法)

2015年 1月号 vol.1

明けましておめでとうございます。

年末年始はご家族とゆっくり過ごされたことと存じます。

昨年は学習療法ご参加の皆様には大変お世話になりました。ケアセンター成瀬は町田市で最初に学習療法を取り入れ、すでに7年が経過しようとしています。現在町田市内では4施設に増え、年に数回お互いの見学会を行って交流を深め、情報交換をしスタッフのスキルアップに努めています。

私どもの施設で3年、5年と継続して学習されている方が多くいらっしゃいます。「やっていたよかった！」と言っていたら、皆様と一緒に学び、考え、楽しい学習を進めていきたいと思えます。

引き続き、学習療法をもっともって皆様の生活向上に活かすため、スタッフ一同頑張っています。

本年も変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願い致します。



テイサービス 久保田



○川島隆太

学習療法の生みの親 脳科学者 東北大学教授
 学習療法は川島隆太教授、道海永寿会の山崎律美園長、教育のKUMONの3者の出会いがあって始めて実施できたプロジェクト

東北大学 川島教授から

10年間の研究・実践の歩みを進める中で、学習療法・脳の健康教室は様々な活用される可能性があることが明らかになってきました。学習療法においては、学習される高齢者のQOL向上に効果があるのみならず、ご家族にも大きな喜びがもたらされます。

また学習療法に携わるスタッフのコミュニケーション力や観察力、気づき力、個別ケアの姿勢も磨かれてくることにより、ケアの質自体も高まってきたという報告も多数いただいています。また、そのような学習療法の可能性を実感したスタッフが、法人や施設、職種の枠を超えて交流し、

学びあい、互いに高めあっているというムーブメントも全国各地で起きています。

また脳の健康教室は、認知症の予防をめざすという目的のみならず、教室に集う学習者、サポーターが新しく仲間となって、そこで得た元気を地域に活かし、新しい地域コミュニティ創生に役立てようという活動も生まれてきています。さらに2011年から始まったアメリカでの実践研究では、想定をはるかに超える成果と喜びが生み出されました。

くもん学習療法センターだより

アメリカでの学習療法トライアルを記録したドキュメンタリー映画『僕がジョンと呼ばれるまで』の一般公開が、昨年3月1日(土)から札幌・仙台・福島・東京・大阪・岡山・松山・福岡で、3月8日(土)から山形で、それぞれスタートしました。

『僕ジョン』が文部科学省「選定作品」に選ばれました

文部科学省は、教育上価値が高く、学校教育または社会教育に広く利用されることが適当と認められる映像作品を選定しています。

昨年12月に『僕ジョン』は、児童から成人の方まで幅広い世代向けにすすめることができる映画として、6つの部門で「文部科学省選定」作品との評価を受けました。一つの作品が複数の部門で選定されるケースは、これまでほとんどなかったそうです。

ホームページの検索はこちら→ 文部科学省
映像作品等選定作品一覧(平成25年12月)

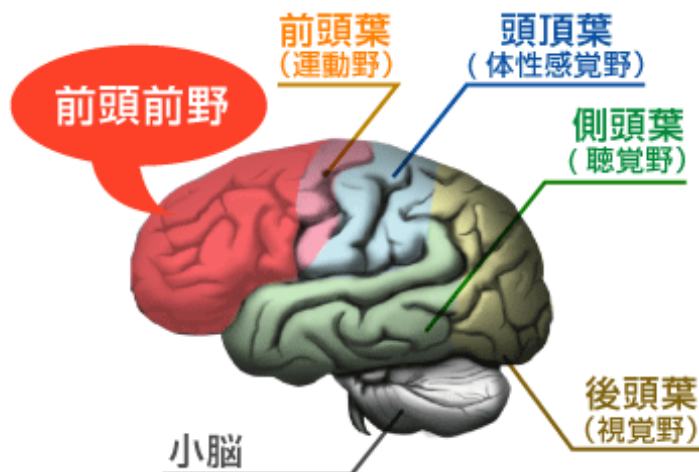
映画の中では、エヴリンさんをはじめとするご高齢者の方々、娘さん、息子さん、お孫さんなど学習者のご家族、そして若い世代のジョンなど、様々な世代の姿が描かれ、いかに自分らしく生きることが出来るのか考えさせられる内容が、文部科学省から高く評価されたのではないかと思います。



マスコミは、国内の学習療法の実践にも注目

映画公開前、配給会社を通じて『僕ジョン』のことを知った新聞記者から、「映画の内容だけでなく、国内の学習療法の実践の様子を、あわせて紹介したい」とお問い合わせをいただきました。結果的に3つの取材が入ったのですが、取材を受けてくださった施設様での実践、とりわけ学習療法スタッフが、一人ひとりの状態にあわせたコミュニケーション、対応を行われることで、学習者がいきいきとされている様子を見て、どの記者も驚きの表情を浮かべていました。ある記者は取材後に、「学習療法という名前をこれまで聞いたことはあったが、今日初めて実際に行われている様子を見させていただきました。認知症の方がコミュニケーションによって、こんなにもいきいきと学習されるのですね」とおっしゃっていたほどです。

認知症の症状のほとんどは、脳にある「前頭前野」の機能に関係があります。



人間の前頭前野には

1. 思考する
2. 行動を抑制する
3. コミュニケーション(対話)する
4. 意思を決定する
5. 情動(感情)を制御する
6. 記憶をコントロールする
7. 意識・注意を集中する
8. 注意を分散する
9. 意欲を出す

などの働きがあります。これらは、まさに人間を人間たらしめている高次の機能です。つまり、前頭前野は“人間の心”そのものといえるでしょう。また、前頭前野が命令を発することで、脳のほかの領域の機能が働くという点で、「前頭前野は、脳の司令塔」ともいえます。 学習療法は、この前頭前野を活性化させ、認知症の改善をはかるものです。

(学習療法ガイドブック)